

□議員名：恒松 恵子

1 子育て支援に関する ICT 化について

論点	子育て支援に関する情報が市のホームページなどで十分に公開されているか。
回答	市はホームページや広報紙、SNS や FM ラジオなど様々な手段で情報発信を行っている。主に子育てアプリ「さんようおのだっこ」では子育てに関する行政情報を目的別に発信し、各保育園や幼稚園の様子も随時更新している。

論点	令和4年春に導入される公立保育所への保育業務支援システムによってどのような成果を見込んでいるか。
回答	QR コードを使った登降園管理、保育士の指導計画書の作成、保護者への一斉配信、アンケート機能、保育士のシフト管理などができる。導入によって保護者の利便性の向上と保育士の業務改善が考えられる。

論点	母子手帳アプリは県内でも導入が進んでいるが、本市の考えはどうか。
回答	母子手帳アプリは予防接種のスケジュール作成や子どもの成長を日記のように記録できるなど便利な機能があるため、子育て世代にとって有効なツールだと考える。本市も導入に向けて積極的な検討を行う。

2 小野田駅前都市再生整備計画終了後のまちづくりについて

論点	令和2年度で終了した小野田駅前地区都市再生整備計画事業の成果はどうか。
回答	JR 小野田駅前広場のリニューアル工事を行うとともに、防災の観点からかまどベンチとマンホールトイレが設置できる日の出公園を整備した。また都市計画法の規制を解除するとともに緊急車両も通行できるようになった。

3 ごみ問題について

論点	事業系のごみについて、都市部で見かけるようなシールなどの証紙を貼ることによって収集することが可能にならないか。
----	---

回答	少量の事業系の一般廃棄物について専用の袋を導入したり証紙を販売したりする自治体もあるが、法の趣旨を押し量っていただき事業系のごみについては事業者の責任において処理してほしい。
----	---

論点	各戸に配布している「家庭ごみの出し方」は文字が小さく分かりにくいとの声があるが改善できないか。
回答	壁や冷蔵庫に貼るのに適当で利便性の高いサイズとして選定しており、この限られたスペースで全てを網羅するのは困難である。ごみの出し方で分からないことがあれば環境衛生センターに問い合わせしてほしい。

論点	月に一度の自治会収集では現代の生活様式に合っていない。24時間出せる資源ごみ回収拠点施設が必要でないか。
回答	利便性は高いと考えるが、過去に不法投棄などの問題事例が頻発した。現在、毎週日曜日8時から17時まで出せる資源ごみ回収拠点施設を設置しているので、そこを利用してほしい。